

五十鈴の風

平成20年7月発行
発行：市立伊勢総合病院

安心していただける医療を

- 新任医師の紹介・・・・・・・・・・・・・よろしくお願ひします
- 院内各科紹介・・・・・・・・・・・・・歯科口腔外科
- 院内トピックス・・・・・・・・・・・・・ハートフルコンサート
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・・・・・・看護部 糖尿病チーム
- 健康メモ・・・・・・・・・・・・・そけいヘルニアとは
- 検査室通信・・・・・・・・・・・・・善玉と悪玉コレステロールのお話
- 栄養管理課だより・・・・・・・・・・・・・がんを防ぐための12カ条
- 院内トピックス・・・・・・・・・・・・・おと音しゃい祭



「7月のひるがの高原」 総務課 佐野 幸久 撮影

事務局だより

皆様から「五十鈴の風」の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局(総務課 下村)までお願いします。

市立伊勢総合病院 の 基 本 理 念

患者様の立場より 愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
病院機能の立場より 良質かつ高度の医療
地域医療の立場より 円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

新任医師の紹介



野田 雅俊 (病理検査科)

出身地：津市 出身大学：三重大学 前任地：県立志摩病院 特技/趣味：ドライブ
好きな言葉：一期一会 一言：1年半ぶりの復帰となります。病理診断を通じて質の高い医療を提供できるよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



近藤 誠 (皮膚科)

出身地：鈴鹿市 出身大学：関西医科大学 前任地：三重大学付属病院
特技/趣味：フットサル マイブーム：愛犬と遊ぶこと 一言：7月から赴任しました近藤と申します。このたび、当院に赴任でき、伊勢市に住むことをとても嬉しく思っています。不慣れな点が多く、ご迷惑をお掛けすることもあると思っておりますが、皆様のお役に立てるよう最善を尽くします。どうぞよろしくお願いいたします。

院内各科紹介

歯科口腔外科



歯科口腔外科は、口腔・顎・顔面領域に関わる疾患を中心に診療を行っています。

当科での診療内容は、親知らずなどの難抜歯、骨折、顎変形症、口腔がん等の手術治療を中心に、顎口腔領域の炎症、良性腫瘍、嚢胞性疾患、顎関節疾患、唾液腺疾患、口腔粘膜疾患など、顎口腔領域の疾患を幅広く取り扱っています。

また、最近では高血圧や心疾患、アレルギーなどの全身疾患をお持ちの患者さんも多く、関連診療科と綿密な連携を取りながら、安全な診療を行えるよう努力をしております。

当科は、三重県南勢地域唯一の日本口腔外科学会指定研修機関であり、現在は日本口腔外科学会認定指導医の木下科長をはじめ、前多、桂木の3名で診療を行っています。

一般外来診療は月曜日から金曜日の午前中です。水・金曜日の午後は手術室での手術日、月・火・木曜日の午後は外来での小手術を予約制で行っています。

何かお困りの事がございましたら、気軽に当科までご相談ください。

(歯科口腔外科 桂木明子)



院内トピックス

ハートフルコンサート

本年5月から毎月1回、NPO法人ライフアカデミー様のご協力によりハートフルコンサートを開催しています。このコンサートは過去に2度、シリーズで開催し、今回で3回目となります。

コンサートの内容は、歌や演奏、踊りなど多彩な演目で、入院患者さんにお楽しみいただいています。5月は「伊勢音頭の会」の皆さんに伊勢音頭をテーマにした唄と踊りを、6月には、「ながこと ちゃちゃ」さんに歌とピアノをご披露いただきました。

これからも、毎回、趣向をこらした内容で楽しいひとときを提供していただけるものと思いますので、どうぞご期待ください。

(総務課副参事 下村浩司)



「伊勢音頭の会」



「ながこと ちゃちゃ」

院内部署シリーズ

看護部 糖尿病チーム



フットバスにて治療中の様子

現代病とも言われる糖尿病の患者数は、ますます増加しており、40歳以上の6人に1人、60歳以上の3人に1人が糖尿病あるいは予備軍と言われています。

糖尿病になっても治療をきちんと行い、血糖を十分コントロールすることで合併症を予防し、健康な人と変わらない生活をおくることが出来ます。そのサポート役として私たち、糖尿病チームは糖尿病療養指導士を中心に“心に触れるケア”を目標として、糖尿病学習入院やフットケア外来を実施しています。

糖尿病で困っている方、足がしびれて歩きにくい方など、不安のある方はお気軽に総合受付へご相談ください。

(看護師長 江川美穂)

一般に脱腸（だっちょう）と呼ばれている良性の病気です。小児および40歳以上の成人に多く、小児の場合、自然に治ることもあります。成人の場合は加齢とともに下腹部から足の付け根（そけい部）の組織が弱くなり発症するため、手術治療が必要となります（お薬で治る病気ではありません）。

治療は、小児の場合、ヘルニアの袋を切除しますが、成人の場合は、弱くなった組織を補強することとなります。ダイレクトクーゲル法やメッシュプラグ法などがあり、病状に応じて治療法を選択しています。

また、治療せず放置しておくと、時に飛び出したまま戻らなくなる場合があります。専門的には“嵌頓（かんとん）”という状態で、腸がはまり込み、血流が阻害されることで、時には腸が腐ってしまいます。この場合緊急手術が必要となります。

そけい部に違和感やしこりがある方、相談できずお悩みの方はお気軽に外科外来を受診してください。
(外科医長 野田直哉)



検査室通信

善玉と悪玉コレステロールのお話

平成20年4月より、特定健康診査・特定保健指導が始まりました。この制度は40歳から74歳までの方が対象となる、通称メタボ健診と呼ばれる新しい健診制度です。さて、この健診の項目のひとつであるコレステロールとはどんなものなのでしょう。

コレステロールには、HDL（善玉コレステロール）とLDL（悪玉コレステロール）と呼ばれるコレステロールがあります。正確にはHDLとLDLはリポタンパクであり、コレステロールを運ぶための容器にあたります。脂質の一種であるコレステロールは血液中に溶けないため、この容器に入れて運びます。それぞれの容器に入れられたコレステロールをHDLコレステロール、LDLコレステロールと呼びます。HDLとLDLはどちらもコレステロールを運ぶという大切な仕事をしていますが、運び方に違いがあります。

HDLは各細胞で余ったコレステロールを回収し肝臓に運ぶため、善玉コレステロールと呼ばれています。一方、LDLはコレステロールを肝臓から各細胞に運び、余ったコレステロールを回収しません。この余ったコレステロールが血液中にたまり動脈硬化の原因となるのです。そのためLDLは悪玉コレステロールと呼ばれています。

したがって総コレステロール値も大切ですが、HDL、LDLそれぞれの値が重要となります。コレステロール値の高い人は、コレステロールを多く含んだ食品を控えるとともに、体内で合成されるための材料となる糖質や脂質も控えるよう心がけましょう。また、コレステロール値は低ければ低いほどよいというわけではありませんので、日ごろからバランスのとれた食事と適度な運動で適正な値を目指しましょう。





栄養管理課だより

国立がんセンターから提唱されている【がんを防ぐための12カ条】を紹介します。この12カ条を積極的に実行すれば、多くのがん予防に効果的であると考えられています。

—— がんを防ぐための12カ条 ——

- 1 バランスのとれた栄養をとる — いろいろ豊かな食卓にして —
- 2 毎日、変化のある食生活を — ワンパターンではありませんか？ —
- 3 食べすぎをさげ、脂肪はひかえめに — おいしい物も適量に —
- 4 お酒はほどほどに — 健康的に楽しみましょう —
- 5 たばこは吸わないように — 特に、新しく吸いはじめない —
- 6 食べものから適量にビタミンと繊維質のものを多くとる
— 緑黄色野菜をたっぷりと —
- 7 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから
— 胃や食道をいたわって —
- 8 焦げた部分はさける — 突然変異を引き起こします —
- 9 かびの生えたものに注意 — 食べる前にチェックして —
- 10 日光に当たりすぎない — 太陽はいたずら者です —
- 11 適度にスポーツをする — いい汗、流しましょう —
- 12 体を清潔に



院内トピックス

おと音しゃい祭に参加します！

伊勢市の若者が伊勢の町を元気づけようと毎年開催している「音しゃい祭」が今年も県営サンアリーナで8月31日に行われます。今年のテーマは「ありがとう！」だそうです。私たちティーンズ&ウーマンズクラブ・アイリス・伊勢では、医療サイドから祭に参加する若者にメッセージをおくることで、生命の誕生から大人になるまでの人生をみつめ、自分たちが生まれたことを感謝し命の大切さを再認識してもらえればと思っています。テーマは、「FOR MY HAPPY LIFE —ティーンズ&ウーマンズクラブ・アイリス・伊勢からあなたへ—」です。是非、暖かい目で見守っていただき、何卒、ご協力、ご参加をお願いします。

(ティーンズ&ウーマンズクラブ・アイリス・伊勢 代表 産婦人科 村松温美)